

会議の概要

会議の名称	あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和7年11月13日（木） 午後2時
開催場所	あま市役所2階 A会議室
議 題	(1) あま市の現状について (2) あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査について
会議資料	1. 次第 2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿 3. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会要綱 4. 【資料1】令和7年度あま市の現状 5. 【資料2】調査概要とスケジュール 6. 【資料3】令和7年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票 7. 【資料4】令和7年度在宅介護実態調査票 8. 【資料5】令和7年度介護支援専門員調査票
公開・非公開の別 (非公開の場合は その理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	1人
出席委員	加藤 昭宏 下方 辰幸 覺前 淳 野口 隆 笹山 聡 武藤 二三夫 立松 愛唯 中上 典子 服部 章平 杉本 吉之
欠席委員	井村 なを子
事務局	高齢福祉課長 国立 主 幹 中井 課長補佐 小林、岩間、近藤 係 長 杉本、石川、後藤 保険医療課主査 藤本 健康推進課課長補佐 植田 Next-i 株式会社 安村（委託業者）

議事内容

<p>事務局</p>	<p>本日は大変お忙しい中、令和7年度第1回あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻前ではございますが、本日もご出席予定の皆様がお揃いになりましたので、ただいまより始めさせていただきます。</p> <p>今回の策定委員会は『あま市審議会等の会議の公開に関する要綱』第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の策定委員会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ会議録を掲載することとなっておりますのでご承知ください。</p> <p>傍聴人の方につきましては、受付でお渡ししました『傍聴に当たっての遵守事項』をお守りいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>また、本日「井村委員」からご欠席の連絡がございましたので、この場でご報告させていただきます。</p> <p>はじめに、加藤委員長よりご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>あいさつ</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここからは着座にて失礼いたします。</p> <p>まず初めに、資料の確認をおねがいします。</p> <p>資料確認 ※P1 参照</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、委員の皆様を紹介させていただきます。</p> <p>今回の策定委員会から、一部委員の変更がございましたので、改めてご紹介させていただきます。</p> <p>学識経験者といたしまして</p> <p>同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科</p> <p>専任講師 ^{かとう}加藤 委員</p> <p>関係機関又は団体の代表者といたしまして</p> <p>医師代表 ^{しもかた}下方 委員</p>

	<p>認知症疾患医療センター長 かくまえ 覚前 委員</p> <p>歯科医師会代表 のぐち 野口 委員</p> <p>薬剤師会あま市代表 ささやま 笹山 委員</p> <p>老人クラブ連合会会長 むとう 武藤 委員</p> <p>ボランティアセンター運営委員会委員長 たてまつ 立松 委員</p> <p>居宅介護支援事業者代表 なかがみ 中上 委員</p> <p>社会福祉協議会会長 はっとり 服部 委員</p> <p>シルバー人材センター会長 すぎもと 杉本 委員</p> <p style="text-align:center">(民生委員児童委員協議会会長の井村^{いむら} 委員は欠席)</p> <p>以上でございます。</p> <p>次に、事務局といたしまして、 高齡福祉課主幹 中井、高齡福祉課課長補佐 小林、岩間、近藤 高齡福祉課係長 杉本、石川、後藤 健康推進課課長補佐 植田、保険医療課主査 藤本 そして私、高齡福祉課長の國立です。</p> <p>また、本日この委員会におきましては、本計画の調査業務を委託しております、Next-i 株式会社の安村氏を同席させていただいておりますので、ご承知いただけますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。 これより議事の進行を加藤委員長にお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、議事の進行をさせていただきます。</p> <p>では、「議題（１）あま市の現状について」を議題とします。 事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">資料に沿って説明</div>
委員長	<p>ありがとうございました。 今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>大治町と飛島村を比較対象から抜いたということで、飛島村は恐らく高齡化率が高くあまり参考にはならないのかもしれませんが、大治町は見方</p>

	<p>によってはあま市よりも都会といえる町だと思っておりますが、比較対象から除外されたのは、単に町村だから除外したということなのか、それとも何か理由があったら教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>あま市の人口は約 88,000 人ですが、大治町、蟹江町は約 35,000 人程度となります。</p> <p>町だから除外したわけではないですが、人口規模、特に清須市や北名古屋市は、本市と同じく合併を伴った市であり、取組も似通っている部分が多く、隣接している稲沢市も人口が 130,000 人と多いですが入れさせていただきました。</p> <p>補足の説明として、清須市も、北名古屋市も、稲沢市も計画を策定する時にあま市を比較対象に入れていただいております。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>その他、意見や質問もある方はいらっしゃるでしょうか。</p> <p>もし差し支えなければ、事務局に事前に私から聞かせていただいた補足をお願いしたいと思います。</p> <p>6 ページの要支援・要介護者認定の推移が一定数上がっていますが、10 ページのサービス受給者数あるいは受給者割合の伸びが、必ずしも比例していないように見える点で、穿った見方をすれば、介護認定は受けるけれども、必要なサービスが無い、あるいは何か特別な理由があってサービス利用、サービス受給者数の推移に反映されていない可能性はないのかということでご質問させていただきました。</p> <p>その辺りについて、可能であれば補足をいただけますでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>前回の調査で、「介護保険サービスを利用していない理由」を伺っています。</p> <p>その結果、「本人の意思（拒否反応）」ですとか、「家族の思い」で介護サービスを利用しないという方があわせて6割以上いらっしゃいました。</p> <p>「利用できるサービスがない」、「サービスに不満がある」といった回答につきましては、3%ほどございましたが、やはり多くはハード面ではなく、本人の意識によるものが強いのではという認識をしております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>サービスを利用されるほどの状態ではないという方が 35%、本人にサービス利用の希望が無いが 26%で、6割以上ということで補足していただきましたので、私もその点は安心したところでございます。</p> <p>その他、ご質問、ご意見等はよろしかったでしょうか。</p> <p>質問等ございませんので、次に進みたいと思います。</p> <p>「議題（２） あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に関する実態調査について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明において、ご質問はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>ニーズ調査について、3,000件も必要ないのではないかと思います。</p> <p>本当は500件から1,000件あれば十分だと私は聞いていますが、できるだけ皆さんの意見を聞きたいという事務局の考えはよく分かります。</p> <p>また、介護保険分野が主になって、高齢者福祉分野はあまり入っていないと思います。</p> <p>例えば、最後に「高齢者の福祉、介護についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください」とありますが、もう少し、例えばこんなメニューはどうか、あるいはこんな施策はどうかというような、高齢者にとって楽しい福祉というものを伝えることは必要ではないか。</p> <p>昔は、老人クラブに補助金を出して、年に1回温泉に行く等、色々なレクリエーションがありました。今はお金が無いということで何も楽しい施策がありません。</p> <p>また、高齢者の運転、免許証の返納が言われていますが、あま市で免許証の返納は考えられません。</p> <p>インフラが全然整えられておらず、巡回バスも毎日運行していないので、高齢者福祉、住民福祉に広げてそういう点をやっていただかないと。</p> <p>例えば、相談に行こうと思っても、やはり足がないと行けません、ということも含めてそのような内容を入れていただきたい。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、2点ご意見いただきました。</p> <p>1点目が、一般高齢者の方に対するアンケート調査の人数について、3,000人ということですが、もっと少なくても良いのではないかという意見です。</p> <p>2点目は、アンケートの自由記述欄についてです。</p> <p>事務局の方はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ニーズ調査につきましては、委員のご指摘の通り、これまでも3,000件で行ってまいりました。</p> <p>データ数としても、アンケート調査の質の担保という点でも、あまり件数が大幅に変わるとするのはよろしくないという認識で、3,000件を継続させていただいております。</p> <p>もう1点の質問、高齢者施策というところで、介護保険寄りだというご意見をいただきましたが、全般として、地域での活動を取ることも、ニーズ調査の8ページ等でお伺いさせていただいております。</p> <p>また、実際に交通手段の話につきましても、それに特化した部分については、市の交通施策として別途審議会もごございますので、そちらに検討をお願いしたいというところで、具体的に市の交通インフラの整備に関する設問は入れておりません。</p>
委員	交通インフラの問題は例として言ったのですが、例えば老人クラブやシ

	<p>ルバー人材センターの拡充、支援等、高齢者にとって、元気な人にとっても楽しい施策をもう少し打ち出せないかなということです。</p> <p>そういった設問を入れないことには、回答は出てこないと思います。</p>
事務局	<p>ニーズ調査 15 ページの問 71 に、あまり具体的ではないですが、「どのようなことを望みますか」という設問を設けています。</p> <p>○が 3 つまでとじていますが、ここである程度こういったものがあれば良いということは吸い上げができます。</p> <p>そのうえで、もう少し書き足りない場合は、最後のページに具体的に書いていただくというような形で作成しています。</p> <p>選択肢としても、種別的な形にはなりますが 17 項目設けております。</p> <p>また、自由記述ということで書いていただければという形になっていますので、ご理解いただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>資料 3 の 15 ページ問 71 の説明に老人クラブ等の地域団体の活動に関する項目を増やす、あるいは自由記述で、最初は例示をするかという話がありましたが、具体的な例示をしてしまうと、そこに回答を引っ張ってしまう可能性もあります。</p> <p>もし、自由記述でご意見も含めて幅広くいただきたいということを考えるとしたら、この欄で項目をいくつか整理して、その中での自由記述を検討するのはひとつかもしれません。</p> <p>ただ、いずれにしても事務局の方でご検討頂ければと思います。</p> <p>その他、ご意見、ご質問等いかがでしょうか。</p>
委員	<p>前回のアンケート調査実施も同じ時期だったのでしょうか。</p> <p>回答期間について、12 月 20 日から 1 月 9 日ということで、ちょうど年末年始であり、回答方法も郵便だけです。</p> <p>例えば、我々世代でもフォーム等のネットで回答する手段が最近はやや普及してきていて、逆に郵便に対して非常にハードルが高くなってきているかなと感じます。</p> <p>ですので、フォーム等が国として制限が設けられているのであれば仕方ないのですが、今後、フォームで回答する方が良いのか、郵送の方が良いのかということも聞いてみると次の機会のアンケート調査では、フォームという手段もでき、回答率が上がるのではないかと思いました。</p> <p>また、地域福祉計画と非常に境界が分かりにくいと感じていて、高齢福祉の分野と地域福祉の分野で、例えば社協のサロン事業であったり、あまのかけあしであったり、地域包括ケアシステムもですが、地域で高齢者を支えるものと被ってきていて、それが地域福祉計画や活動計画でカバーされていけばここはスリムで良いかなと思いますが、策定委員の皆さんは両方出ているとは限らないので、そこが市として明確に住み分けができているのであれば問題ないです。</p> <p>私を含め、ボランティア等に携わる年齢が上がってきており、地域デビューも遅れていて、今後の担い手の減少という課題があります。</p>

	<p>同時に今現在、地域活動をされている人は非常に元気です。</p> <p>これらはまさしく介護予防以外の何物でもないと感じていて、そういった設問は見ていて薄いと感じました。</p> <p>ここにも主体的に関わっているのか、あるいは参加する側なのかという設問があるので、そこで拾えているかと思いますが、今、あま市ではサロンが地域に30くらいあり、そこに通われている一人暮らしの高齢者の方は、介護予防に繋がっているという感覚があります。</p> <p>ですので、その住み分けがどのようにされているかをお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>調査時期については、前回もこれぐらいの時期に行っております。</p> <p>回答手法が郵送に限られているということですが、ちょうど今年度、国勢調査も行われており、ネットでの回答を勧めているという現状であります。</p> <p>ニーズ調査7ページの間44では、スマホの活用について伺います。</p> <p>今回、実施する調査でオンライン手続き等をもう既に行っている回答が多ければ、次回の調査については、ネットでの調査・回答も取り入れてまいりたいと思っております。</p> <p>地域福祉計画との住み分けについて、冒頭で計画の性格をご説明させていただきましたように、地域福祉計画を高齢者福祉計画・介護保険事業計画の上位計画として位置付けており、明確な住み分けというよりも、地域福祉計画が高齢者福祉計画・介護保険事業計画を内包するような形での計画となっています。なかなか明確にこの分野については地域福祉計画でやっていますということが申し上げにくい部分ではありますが、サロンやあまのかけあし事業は、地域福祉計画でも取り上げていたかと思えます。</p> <p>ただ、高齢者に限ってというところではなく、サロンについては65歳以上の方に限るというわけでもございませんし、広く地域で参加する、運営者側で参加することも考えられますので、先ほどご指摘いただいた地域活動というところで、明確にサロンという書き方をしていませんが、具体的な記載を検討してまいります。</p>
委員	<p>「どのようなことを望みますか」の部分も抽象的な印象を受けました。</p> <p>実際に活動している事業名称をカッコ書きでも良いので書いていただけると、ニーズ把握にもつながりますし、もしこれから望むというところに○があったら、既に行っている事業がカバーされているということになります。</p> <p>望むものでも、既に参加しているところに具体的な事業名称を入れていただけると、今後の計画策定もしやすいと感じました。</p>
委員	<p>認知症についての項目で、医療の立場からですが、アンケートを取る時に、専門の医療機関に受診したか・していないか、受診している人がいれば、気付いてから受診までの期間のチェックと、理由の項目を作って、どういう方向で遅くなったのか等の項目を入れていただきたいです。</p>

	<p>ご存知の通り、今認知症の治療は、アルツハイマー型認知症となる前の予備軍の段階から治療を始める新しい時代に入っているのです、いかに市町村でそのレベルの人が関心を持って、ネットに引っかかってくれるかに力を注いでいくことが、もっとアルツハイマー型認知症になる人の数を減らすことができるので、そういった項目を入れてもらえれば早期受診する切り口が見えてくるので、ご一考していただきますようよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、早期受診という点について、認知症の対応として非常に重要であると考えております。</p> <p>ご指摘いただいたところをどのように具体的に設問に入れていけるかは、事務局の方で検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>1点補足をさせていただくと、例えば15ページでACPの説明を今回アンケートで行われていると思いますが、今回500人ではなく、3,000人に調査する副次的な意味で、アンケートを通して知っていただきたいことを周知できるという点もあると思います。</p> <p>今委員がおっしゃった点も、もし追加いただけるのであれば、それを通して早期発見・早期受診ができるということを改めてPRする機会としても併せて活用をご検討いただければと思います。</p> <p>その他、ご意見、ご質問はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>アンケートを送付する時に、地域の紐づけはナンバリングするという話がありましたが、ニーズ調査の場合は3,000人と広く年代もバラバラになるのかなと思っておりますが、2つ目の在宅介護実態調査1,000人について、要介護度が1から5まであって、資料1を見ると同じくらいの割合の要介護度になるかと思っております。</p> <p>発送するときに、要介護度ごとに20%ずつくらいになるように発送するのか、そうではないのか、要介護度が違えば受けているサービスも全然違うと思っておりますので、もし分かるようであれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>委員からご質問いただいた点について、ご指摘の通りニーズ調査については、地域や要支援認定の方というようにカテゴリーを分けて送る予定になります。</p> <p>在宅介護実態調査の要介護度が1から5までの方につきましても、完全な無作為抽出にしてしまうと、例えば要介護度5の方が多くなってしまいう等の懸念がありますので、ある程度実態に即して概ね5等分でお送りさせていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他、ご意見、ご質問はいかがでしょうか。</p> <p>私からも2点よろしいでしょうか。</p> <p>資料5に関して、市外の事業所にも送付されるということで、事業所が市内あるいは市外かの区別が必要なのであれば、回答ができるような設問</p>

	<p>を検討いただきたいと思います。</p> <p>もう1点について、8050世帯と呼ばれるような世帯の現状把握が、このアンケートを通じてどこまでできるかどうか、是非ご検討いただければと思っています。確かに8050世帯というと、50歳の方もみえ、先ほど委員もおっしゃっていたように地域福祉計画と関連するところもあるかと思いますが、本アンケートは回答率が良いので、是非こちらの観点からも、8050世帯の状況が分かるようなものがあれば、ご検討いただきたいと思います。</p> <p>例えば、資料4の在宅介護実態調査で、2ページの間2「世帯類型についてご回答ください」では、単身なのか、夫婦のみなのか、その他ということでありまして、これは資料3の間5の家族構成で「4. 息子・娘との2世帯」という記述がありますが、必須設問なのでいじれないという理解で良かったですね。</p> <p>資料3で言えば、間5の「4. 息子・娘との2世帯」が8050世帯なのか、80歳の方が2人いて、息子や娘が何人かいるのか、本当に親と子が一人ずつなのかが分からないことと、資料4の間2では「その他」ということで8050世帯なのかはどこまで分かるのかが分かりませんが、間9の「介護保険サービスを利用していない理由は何ですか」で、8050世帯だと思われる世帯と、そうではない世帯でサービスを利用していない、要介護認定が出ているにもかかわらず介護保険サービスを利用していない理由が何かあるのではないかなど、もし8050世帯の実態あるいは支援に資するような情報がクロス集計等で得られるようであれば、是非ご検討いただければと思います。</p> <p>それでは、その他のご質問等いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、事務局に進行をお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、「4 その他」でございますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>(特になし)</p>
事務局	<p>それでは、事務局から次回のスケジュールについてご連絡申し上げます。</p> <p>次回の策定委員会は、3月13日(金)14時から、A会議室で開催させていただきますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>